

広報さとる



発行日:2026年7月28日(NO.046) 発行所:トヨタ自動車労働組合
発行人:飯田智士 編集人:井出さとる 印刷所:(株)トヨタエンタプライズ

令和8年 6月定例会 を終えて

みなさん、こんにちは!井出さとるです。新緑の美しい季節から、少しジメジメとした梅雨の季節へと移り変わってきましたが、お変わりなくお過ごしでしょうか。

先日閉会いたしました「令和8年裾野市議会6月定例会」での動きやくらしに関わる大切な決定について、今回も「議員らしくない、分かりやすさ一番」のトーンでギュッとまとめてご報告いたします!

くらしを直接応援!物価高に負けないための新施策

エネルギーや食料品価格の高騰が長引くなか、市民のみなさんの負担を少しでも直接的に減らすための予算が、今回の補正予算で決まりました!注目していただきたい2つの事業をご紹介します。

高齢者移動支援事業(バス・タクシー券)

高齢者がお出かけをためらわないように、そして心身ともに元気に 過ごしてもらうための応援策です。

対象: 70歳以上の市民

内容: 3,000円分のバス・タクシー
利用助成券を交付

狙い: 外出機会の減少を防ぎ、地域の路線
バスやタクシーの利用も応援。

省エネ家電買換え補助金事業

「電気代が高くてエアコンをつけるのを我慢する…」なんてことにならないよう、毎月の固定費を賢く下げるとのお手伝いです。

対象家電: 家庭内での消費電力量が
特に大きい「エアコン」と「冷蔵庫」

内容: 省エネ性能に優れた一定の家電へ
買い換えをした世帯へ補助金を支給。

未来への投資と「みんなの移動の足」を守る挑戦

裾野市がこれから先も生き残っていくために、ずっと提言し続けてきた「未来への投資」や「新しい移動のカタチ」への検証もどんどん加速しています。

公共ライドシェアの実証運行を拡大!

「近くにバスが通ってなくて移動が大変…」という地域の交通空白を解消するため、今年度は国土交通省の補助金を活用し、公共ライドシェアの検証(実証運行)を実施します!

令和7年度に須山地区で1ヶ月間行った実証データを元に、今回は「乗降箇所の増設」「経由地の追加」「昼間の区域型運行の導入」など中身を大幅にパワーアップ。これらをしっかり検証して、令和9年度の「地域公共交通計画」の大改定へと繋げていきます!

岩波駅周辺のまちづくりも着々と前進!

ウーブン・シティ最寄りの岩波駅周辺の整備についても、国からの補助金(都市構造再編集集中支援事業費)をしっかりと確保し、計画に沿って一步一步進んでいます。日々カタチが変わっていく駅周辺の様子を、ぜひ楽しみに見守ってくださいね。

知っておきたい!インフラと安心のためのアップデート

下水道使用料の見直し

将来にわたって健全で持続可能な下水道経営を維持するため、大変心苦しいお願いではありますが、審議会の答申を尊重し、基本料金および超過料金を平均で16.4%引き上げる条例改正が行われました。施行は令和9年1月です。

同時に、分かりづらかった超過料金の区分を5区分から3区分へスッキリ再編します。令和8年11月頃から検針時のチラシやホームページなどで丁寧な周知が始まりますので、ご確認をお願いいたします。

災害に備える!加圧式給水車導入へ

これまで保有していなかった「加圧式給水車」について、最短での導入を図るべく、まずは車庫兼防災倉庫の設計委託に今議会で着手しました。一歩ずつ、災害に強い街へ。

防災行政無線・戸別受信機購入

東富士演習場周辺の無線放送施設設置助成事業を活用し、最新の戸別受信機を2,500台購入する契約を結びました。いざという時の情報伝達体制をしっかりと強化されます。

向田小跡地の東中学校の移転・転用工事、本格始動へ!

令和10年4月の開校に向けて、「東中学校」の移転・転用プロジェクトがいよいよ本格的に動き出しています。

本体工事、設備工事の契約!

今回の東中学校への転用工事ですが、実は予算の金額だけでなく、その「発注の仕組み」についても、私は高く評価しています!

通常、こうした学校の大きな工事となると、大手ゼネコン(総合建設会社)が丸ごと一括で請け負うことが多いです。でもそれだと、裾野市内の慣れ親しんだ地元の会社がなかなか参画できないという壁がありました。

そこで今回、裾野市は工事の契約を建設工事と設備工事に細かく分割して発注(分離発注)する方法をとりました。分離発注は発注する市役所側

から見ると、それぞれの会社と別々にやり取りをしたり調整したりしなければならないため、ものすごく「手間と時間」がかかる大変な作業です。

それでも手間をかけてくれたおかげで、以下のよう素晴らしいメリットが生まれます。

- 地元の会社が入れる:大きなゼネコンしか入れない規模の工事ではなくなったため、地域の意欲ある事業者さんがしっかりと公共事業に参画できるようになりました。
- 裾野の経済がまわる:市民のみなさんからお預かりした大切な税金を使った公共事業が、しっかりと地元の中小企業のみなさんの振興(応援)に繋がっています。

まさに、裾野市が掲げる「日本一市民目線の市役所」を、工事の発注という見えない裏方でも実践して、地元の経済を支える中小企業のみなさんが活躍できる今回の発注方法を評価します。

編集後記

議長という大役を拝命してから、早いもので1年半以上が経ちました。色々な立場の意見を調整し着地点を見出す毎日ですが、いつも頭にあるのは「働く仲間やそのご家族が、この裾野市で暮らして本当に良かったと思える未来を作れているか?」ということです。

硬い数字の並ぶ議会資料の裏側には、みなさんの日々の暮らしが直結しています。これからも「市民目線」を絶対に忘れず、任期満了の10月11日まで全力で走り抜けます!

みなさんのナマの声も、ぜひお気軽にさとりまで届けてくださいね!



裾野市長の村田はるかぜさん
地域おこし協力隊の萩原歩美さんと